

# 僕だけが… (Lyric ; Tsubo)

二人を繋ぐ船で 海を渡ったのは  
僕が二十歳で 君が十九の夜だった

こんなかたちで君を 思い出すことを  
あの日の海はたぶん 分かっていたんだろう

遠くにみえる 神戸のまち ポートピアの観覧車  
あれから僕は まだいちども いったことがないけど

恋しくて泣けたよる いまもときどき  
思いたすことがある キミはたぶん笑うよね

あの頃の願いごと ずっとそばにいたこと  
かなえられない願いが ところをしめつけた

二人をつなぐ船は おおきかったけど  
海に浮かべば波に まぎれて見えない

どんなに強く抱きしめても 伝えきれない思いに  
神戸の街が揺れていた ずっと前のことだけど

恋しくて泣けたよる いまもときどき  
思いたすことがある キミはたぶん笑うよね

恋しくて泣けたよる いまもときどき  
思いたすことがある キミはたぶん笑うよね